

日はのぼる、旗雲の豊の茜に、
いざ御船行でませや、
うまし美々津を。

きたはら
北原 白秋
はくしゅう

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと

未来に受け継ごう「美しい国ぶり」

「茜色に染まった豊旗雲のたなびく日の
出の空の下、東征の船よさあ出立ちませ、
この美しい美々津の港を」

皇紀二、六〇〇年奉祝事業のために、日本
建国の神話をテーマに、詩人北原白秋が
作詞し、信時 潔が作曲して出来上がった
交声曲「海道東征」の一節。

北原 白秋

明治期〜昭和期の日本の詩人、童謡
作家、歌人。

生涯数多くの詩歌を残し、「この道」
「ゆりかごのうた」等、今なお歌い継
がれる童謡を多数発表し、近代日本
を代表する詩人。

神道知識の誘ひ「祈年祭」

古くは「としごいのまつり」とも
いい、「年」とは稲を意味し、稲穂
を蒔く季節の初めにあたって、そ
の豊穰を祈願するお祭りです。
いいかえれば人間の生命の糧を
恵んでくださるようにとお祈り
するお祭りといえるでしょう。
祈年祭では、稲だけでなく五穀の
豊穰と国の繁栄、そして皇室の
安泰や国民の幸福なども祈願さ
れます。この日、宮中の賢所にお
いても祭典が行われ、天皇陛下
が御親拝なされます。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp>

